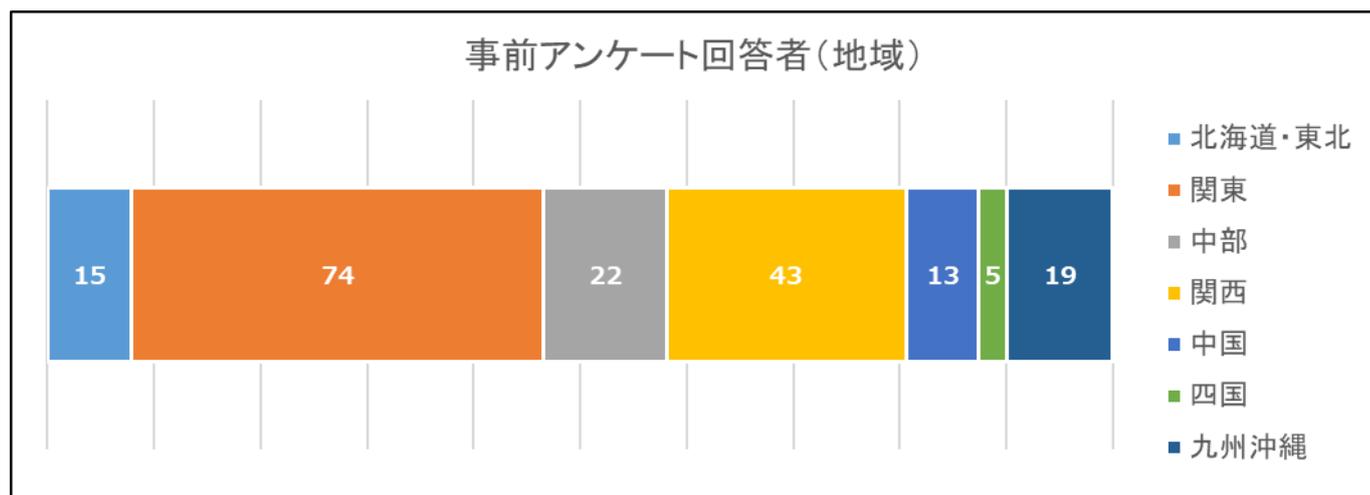


第 15 回全国高等学校情報教育研究会全国大会「情報科担当教員アンケート」結果報告

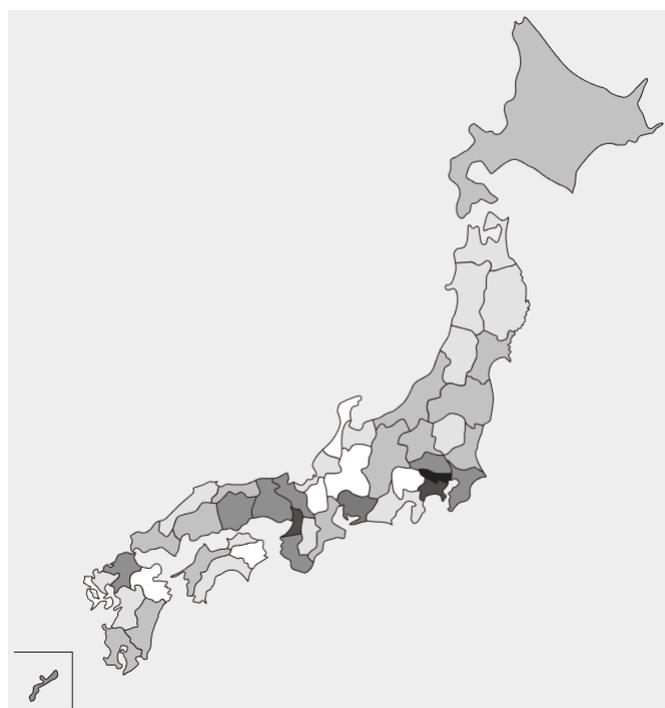
令和 4 年 8 月 9 日・10 日に実施した第 15 回全国高等学校情報教育研究会全国大会の申込に際し、「情報科担当アンケート」を Web で実施した。以下にアンケート結果を報告する。

アンケートは GoogleForms を利用し、参加申し込みをしたのちにアンケートに誘導し、回答を求めた。回答数は 201 件だったが、重複の回答を除き 191 件のアンケートを分析した。記述式回答は手作業で取りまとめている。

1. お勤めの都道府県を教えてください。

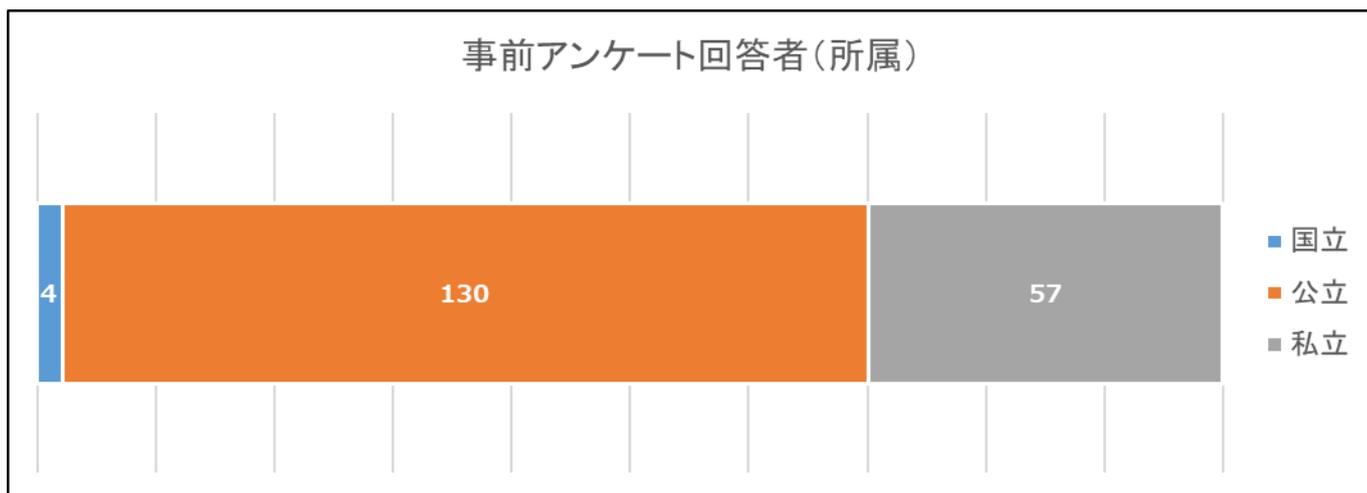


40 の都道府県からの回答があり、地域別の割合として上記のグラフの通りまとめた。関東、関西地区で 6 割を超えており、全国各地からの回答とはなっていない。



地図は、回答数の多い順に濃い色としている。白色の 7 県（山梨、石川、滋賀、岐阜、徳島、大分、長崎）からは回答をいただけなかった。

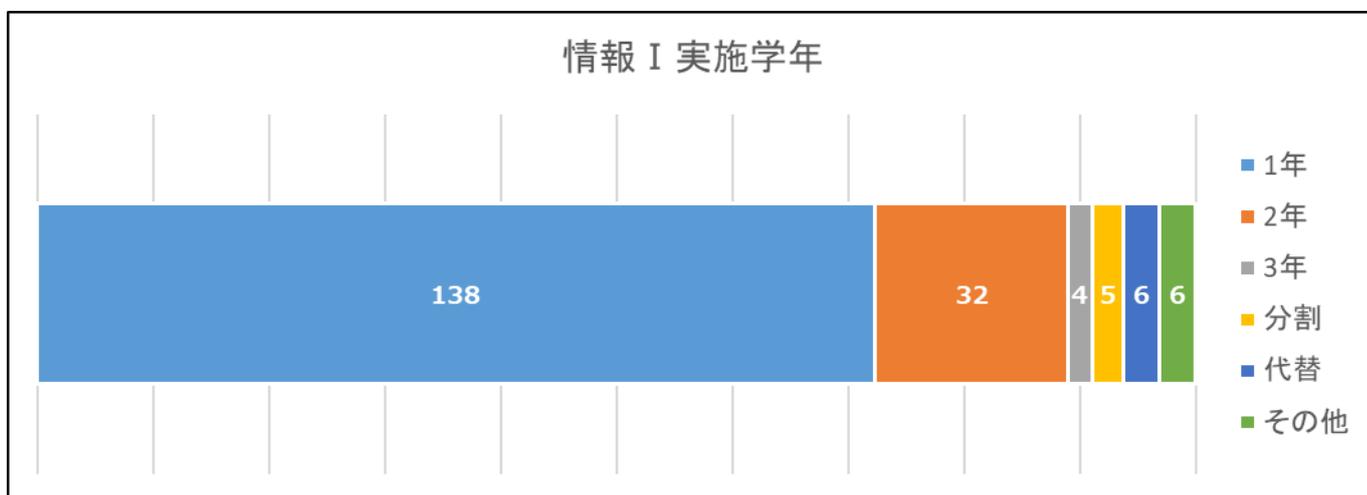
2. お勤めの学校はどれに当たりますか。



公立学校が7割弱を占めている。

私立学校が3割の参加となっている。

3. 情報 I の実施学年



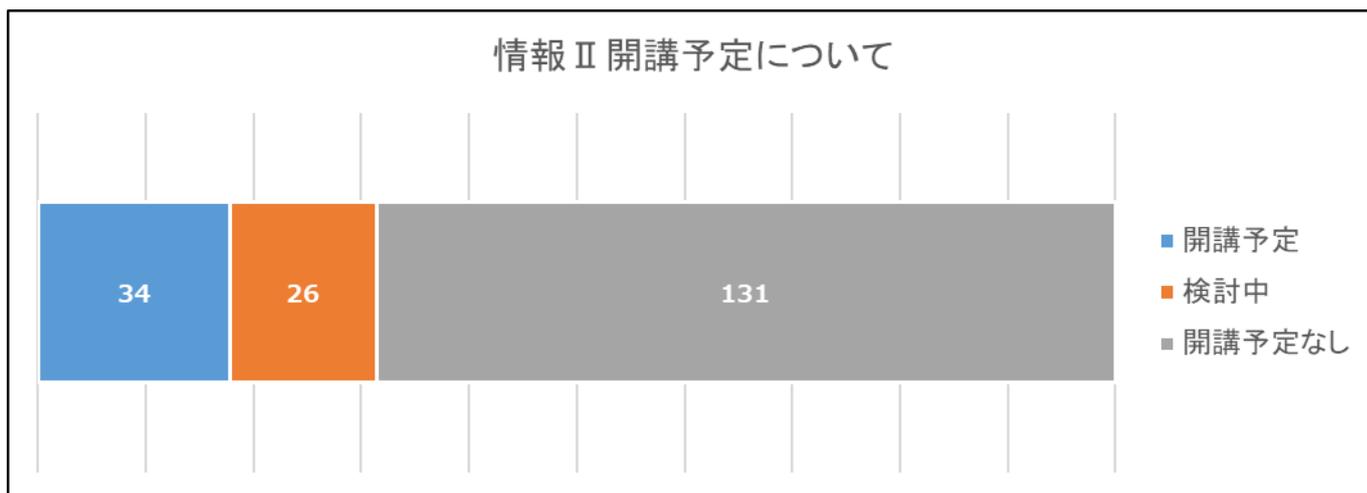
1 学年が 72%、2 学年が 17%と続いている。

分割履修も 3 %と数校で実施と回答があった。

代替は専門学科等の履修による代替と回答した数である。

その他は回答不明等。

4. 情報Ⅱの開講予定について



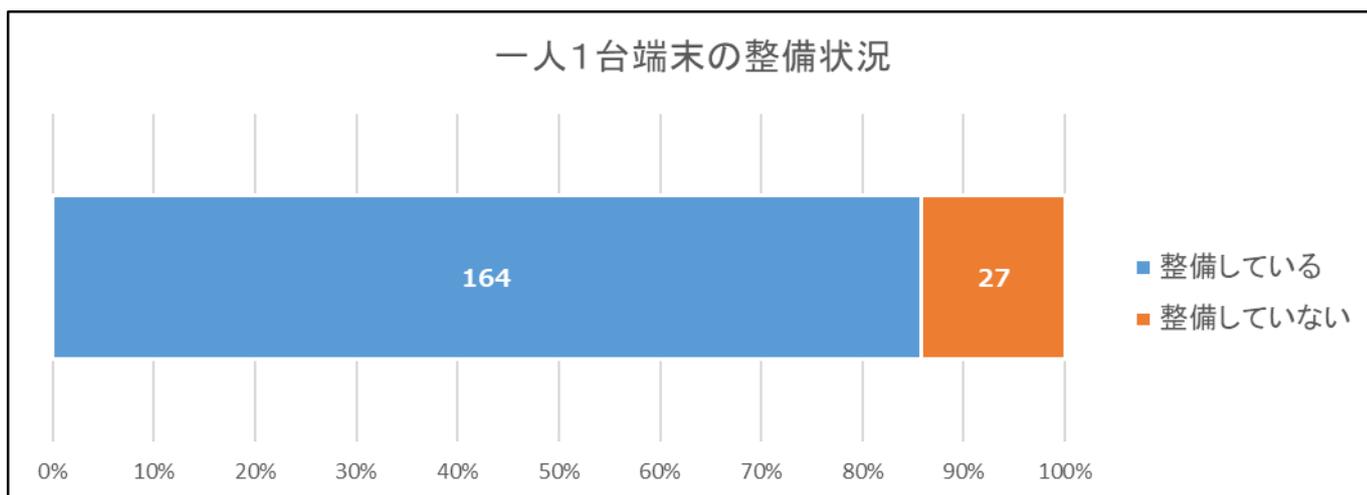
開講予定は18%、検討中14%

現時点で開講予定がないと回答している割合が68%と高い割合となっている。

5. 情報Ⅱを開講予定、検討中の方「開講学年」「必修・選択」をお書きください。

開講予定、検討中を含めて60件となった。学年等が記載されていないものもあり、数値での集計は行えなかった。50件以上は自由選択と回答している。必修選択も、コースによるなどの回答となっていた。

6. 一人1台端末の整備状況



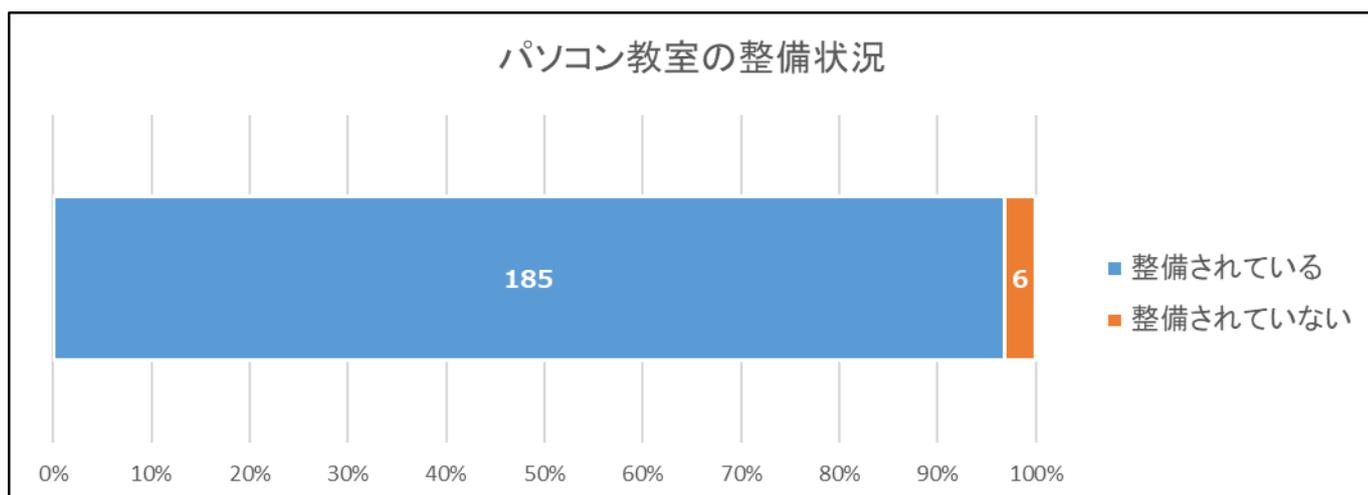
ほとんどの学校が整備しているとの回答を得ている。

整備していないと回答した学校数は公立21校、私立6校の計27校であった。

7. 整備方法について

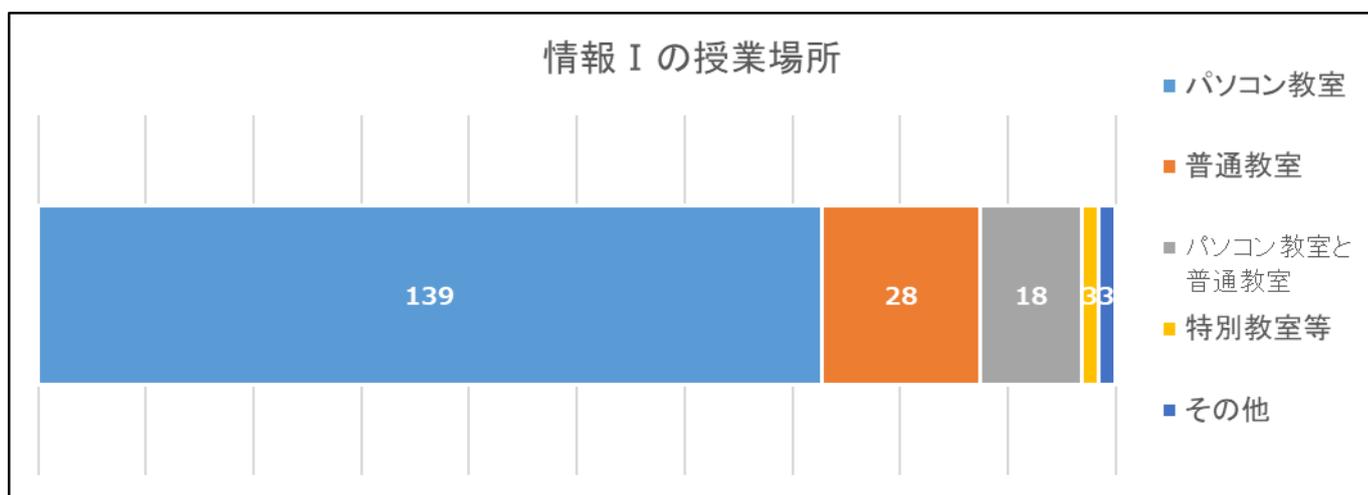
どのように整備したかを記述式で聞いたが、様々な方法があり、取りまとめることが出来なかった。次回は「学校(学校設置者)が整備して貸与」か「生徒保護者が購入」などとして取りまとめたほうがよい。

8. パソコン教室は整備されていますか。



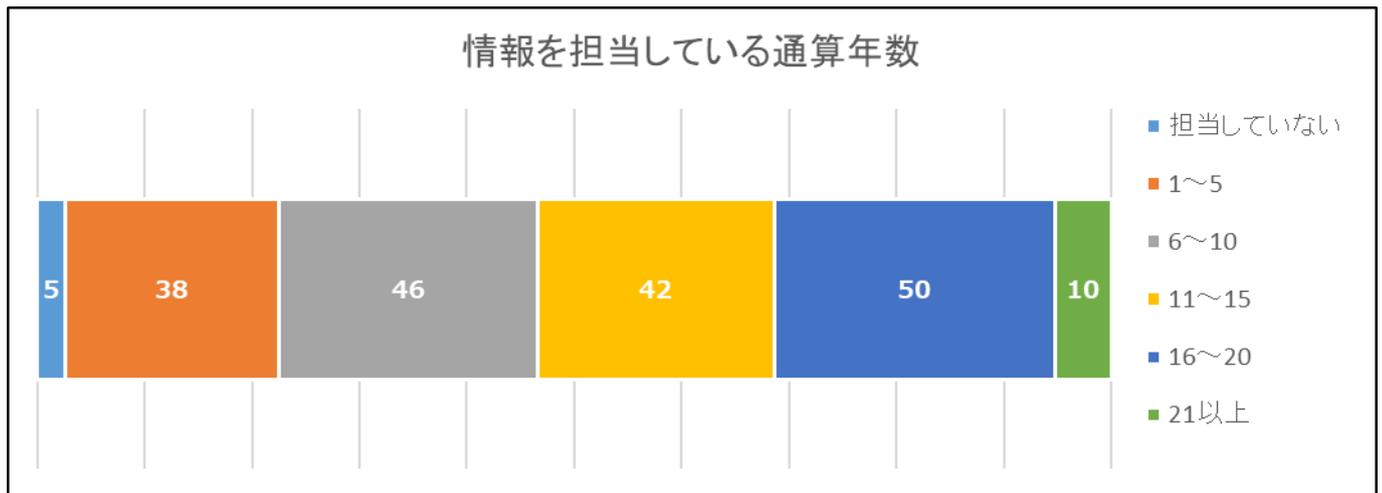
整備されていないと回答した学校は国立1校、私立5校のみであった。整備されているが今後更新の予定がないと通知されたとの回答もあった。

9. 情報 I の授業は主にどこで実施しますか。



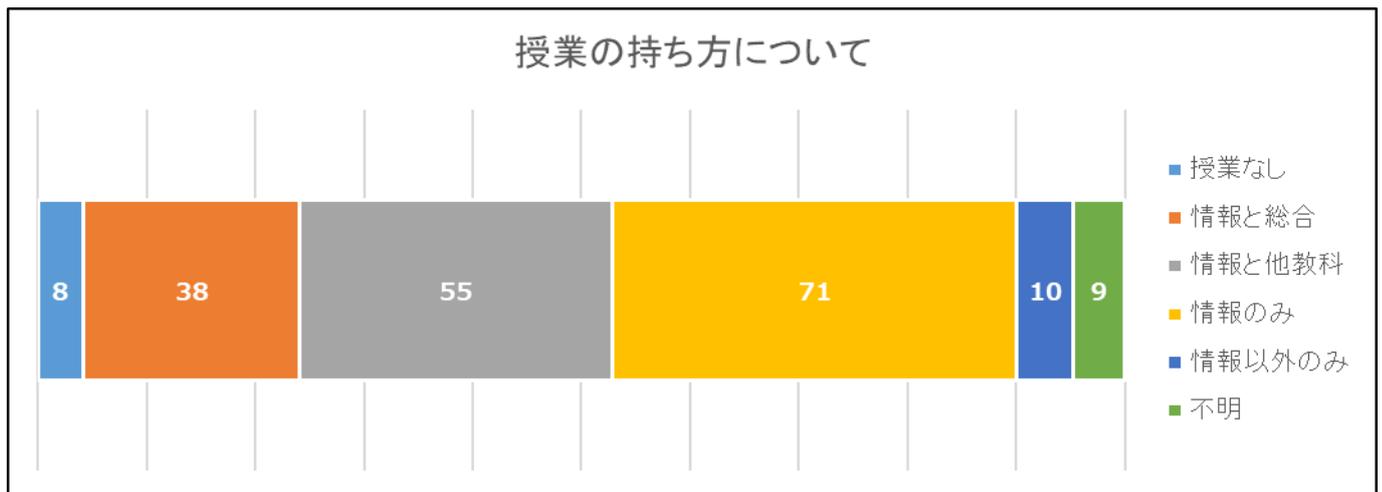
情報の授業はパソコン室を利用されていることが多い。普通教室のみと回答した学校も28校あった。

10. 情報科の授業を担当して通算何年になるか。



5年単位で区切って集計を行った。今回の回答者の傾向は16年以上の経験者が3割を超えているが、それ以外はほぼ同じ程度の回答者の割合となった。

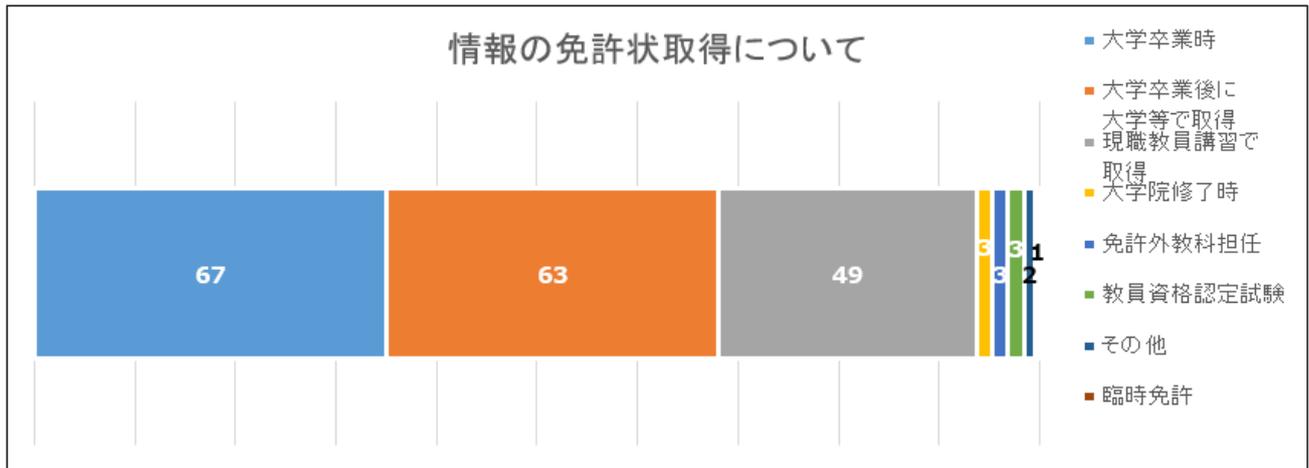
11. 授業の持ち方について



今回は「情報と総合のみ」、「情報と他教科（総合も含む）」「情報のみ」「情報以外のみ」と大きく分けてみた。やはり情報の全国大会に参加する教員は情報のみの教員が多い事が分かる。

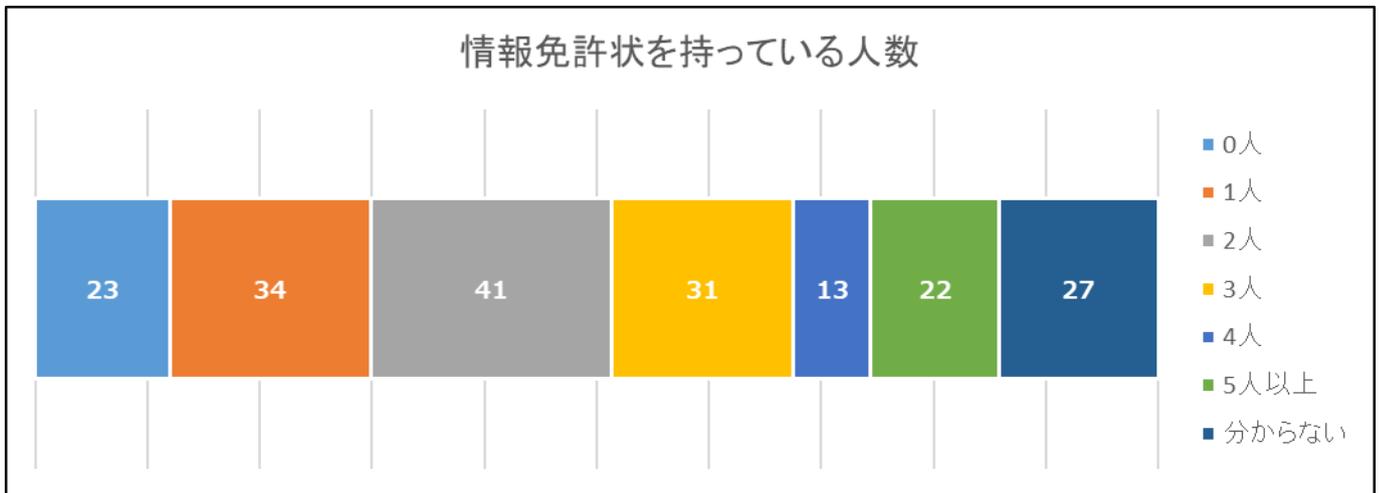
授業なしは、管理職や、教育委員会などとなっている。

12. 情報の免許の取得の状況



これまで多くを占めてきた、現職教員講習会（H12～H14）での取得者は26%となった。それに代わり、大学卒業時に取得した方が35%となっている。アンケートに回答された方で、免許外教科担任、臨時免許は4名だった。

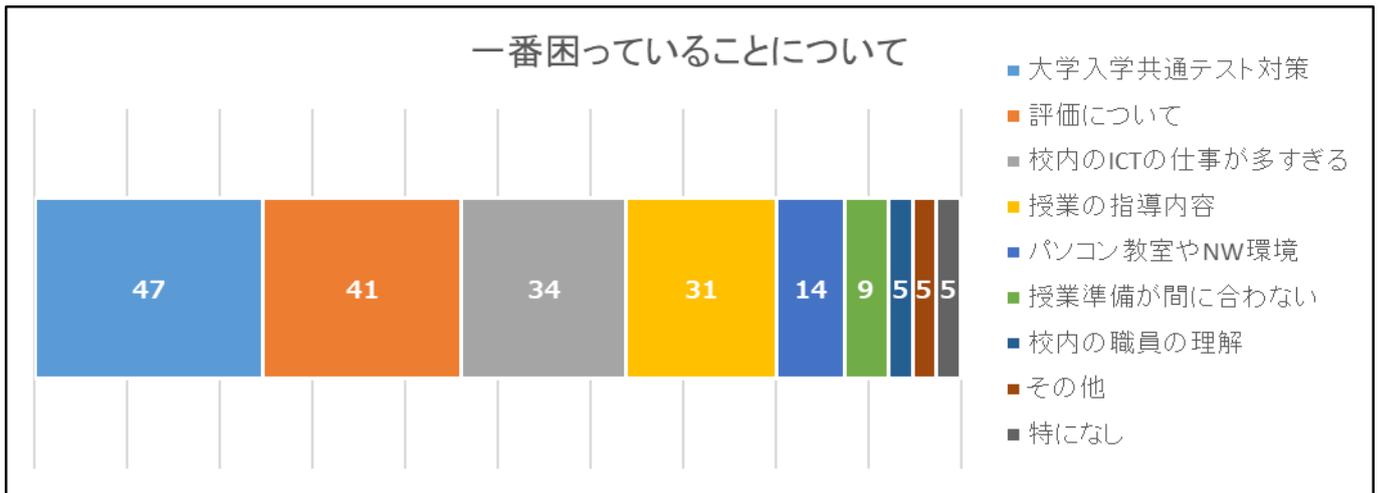
13. 校内に情報の免許を持った方は自分以外に勤務しているか



こちらの質問は適切ではなかった。今回の回答者には複数校を回る時間講師の方等も含まれており、正確に集計できていない。

傾向として、自分以外に情報科の免許を持っている人が校内にいないと回答したかたは14%となっており、情報科の免許取得者は文部科学省の調査の通り、一定数はいるのではないかと推察される。回答の中には一度も情報の授業を持っていない方で、これからも情報の授業は持たないだろうなどの回答もあった。

14. 情報の授業を行う上で一番困っていることを1つ教えてください。



1番は大学入学共通テストに関すること、次に評価、そして3番目には校内のICT関係の仕事が多すぎることが挙げられた。

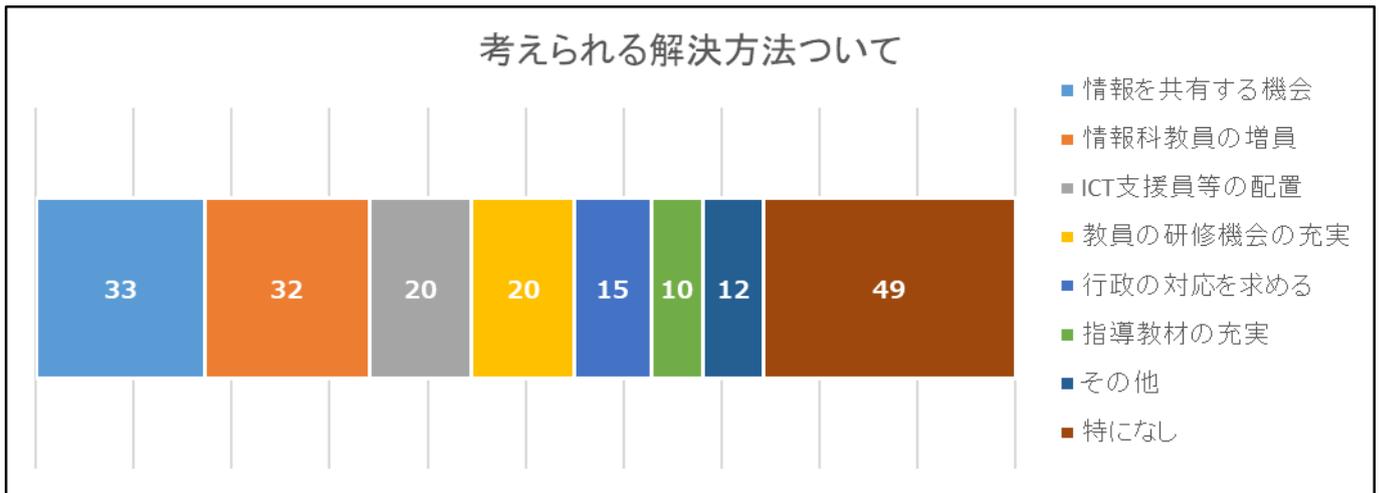
一人1台端末の導入などの仕事が情報科の教員に頼まれる状況であるとの回答もあった。

15. 一番ではないが困っていることを教えてください。

記述いただいた意見を以下にまとめた。

- ・ 授業準備（内容、時間、最新の情報収集、他教科連携など）
- ・ 年間計画（指導内容多く全部やりきれない）
- ・ 実習・演習の内容
- ・ プログラミング・モデル化とシミュレーションなどをどのように指導すればよいか
- ・ 大学入試対策の教材がないこと
- ・ 観点別評価の「主体的に学習に取り組む態度」をどのように評価すれば良いか困っている。
- ・ 評価方法を共有したい
- ・ 情報を受け持つ専任の教員がいない。情報科を牽引していく教員が学校内にいない。
- ・ 情報の免許は持っているが情報を担当できない教員が多くいる。情報科教員の指導レベルの差が大きい。
- ・ 情報以外の教科も担当しており、授業準備が間に合わない。
- ・ フィルタリングがきつく必要なサイトへのアクセスが出来ない。
- ・ パソコン教室の更新が滞っている。今後パソコン教室の更新がされない予定と言われている。
- ・ 身近に相談できる教員がいない。客観的な判断に困る。ICT業務が多い。
- ・ 他の先生がどんな授業をしているか知る機会がない
- ・ ICT関係の業務の担当が不明確なため、とりあえずという形で情報科に回ってくる。
- ・ 機器やネットワークの管理など付随する業務の多さ
- ・ 生徒のICT活用力の格差（経済面も含め）
- ・ 生徒間の実技のバラツキ（特にプログラミングに入ると顕著）
- ・ 情報Iの内容を教えるには2単位では不足
- ・ 行政が学校の実態を理解していない。

16. 困っていることを解決するための支援としてはどのようなものがあると良いですか。



こちらにも、自由式の回答を分類した。

情報共有の機会を増やして欲しい、情報科教員の増員、ICT支援員等の配置などが多くを占めた。解決方法が思いつかない、特になしも26%となっている。

17. 全国高等学校教育研究会へのご意見、ご要望をお書きください

ほとんどがポジティブな応援メッセージをいただいた。こちらの項目は参加者アンケートからまとめていただく予定である。

18. 今後の先生の夢と希望を教えてください。

沢山の意見を書いていただいた。いくつかを抜粋した。後半にある、不安を持っている先生方に対しての手厚いサポートが、今後必要となるだろう。

- ・生徒の心に火をつけることができる情報の授業
- ・(生徒にとって) 日本一の授業をする
- ・しっかりと魅力的な授業をおこない、障害のある生徒が障害のない人と共に生活できる力をつけさせたい。
- ・情報を専門とする教員が増えて、生徒のためにより良い授業ができるようになると良いです。
- ・生徒が、情報科で身に付けた資質・能力を卒業した後もしっかりと生かすことができていると自覚できるようにしたい。
- ・やっと共通テスト教科になったのだから、情報Ⅰの1年間だけでなく、高校3年間とも必須化になり、積み上げていける科目になってほしい!
- ・データ分析やプログラミングは数学や理科とコラボできたらさらに学びが深まると思う。
- ・科目横断型の学びを実現したい。構想はあるが、実現できていない。忙しすぎるので。
- ・主要科目と同等の扱いとして体系的に全学年に何らかの科目配置。

- ・情報Ⅰと情報Ⅱの内容は今まで自分がやってきた情報の授業が具現化したもので、今はワクワクして楽しくて仕方ない。次に続く若い先生方を多く育てたい。
- ・東・京・一・工・地帝の2次試験に情報Ⅱが必須教科として導入されること。(こうならないと、情報Ⅱは開講されないだろうから)
- ・教科書を執筆したい。
- ・もう少し学びを深めて、教科書の執筆にも携わりたいと思っています。
- ・〇〇県の情報部会を機能あるものにする。〇〇県で全国大会を開催する。
- ・早くコロナが収束して、また、対面で多くの先生方と交流したいですね。
- ・入試対策によって、情報科ならではのオリジナリティある授業が、なくなる世界であってほしい
- ・大学入試によって、授業の内容がゆがめられないかが心配である。
- ・大学入試中心の情報科教育にはなってほしくない。情報に楽しさや親しみを感じられる教科であってほしい。
- ・現状として、複数教科兼任する必要があり情報に集中できない。直近の希望は情報科教員の配置充実。情報科教員が活動しやすい前例となることが私の目標。
- ・情報科の教員を複数配置することで、より充実した内容にしていきたい
- ・本県、各学校に必ず正規の情報教員が配置されていること。
- ・授業準備から、ネットワークの整備から、担当先生の負担がかなり多い教科です。もっと情報科として働いてくれる先生が増えるといいと思います。学校のネットワーク整備は、各学校にSEを配置してその方が行う、という環境ができれば…と夢を持っています。
- ・大学入試科目となり、受験指導が不安です。受験指導がなく教科の特性を生かした授業を限られた範囲で自由に展開できる教科であったことに魅力を感じていました。受験指導が不安であり、今は情報科の教員になったことを後悔しています。
- ・情報の教員は各校1名ずつしかいないので、共通テストの結果はその1名に全てかかっている。不安と恐怖しかない。